

## 【主な項目】

### 1. 手洗いの重要性

手洗いは、感染対策の基本中の基本です。手指は患者さんや器具、表面などと接触するため、病原体が付着する可能性があります。手洗いを徹底することで、病原体の伝播を防ぐことができます。

・**手洗いのタイミング**: 患者さんに触れる前後、手袋の着脱前後、器具や物品に触れる前後、食事の前後、トイレ使用後など、あらゆる状況で適切に手を洗うことが必要です。

・**正しい手洗い方法**: 石鹸を使って少なくとも 20 秒間、手のひら、手の甲、指の間、爪の周り、手首までしっかりと洗います。その後、流水で洗い流し、清潔なタオルまたは使い捨てペーパータオルで乾燥させます。

### 2. 消毒の重要性

消毒は、手洗いや手指の衛生の補完として、病原体を除去し、感染のリスクをさらに低減させます。

・**手指消毒**: 手洗いが難しい状況や、手洗い後の追加の予防措置として、アルコールベースの手指消毒剤を使用します。手指が明らかに汚れていない場合は、手指消毒剤を用いることが効果的です。

・**器具の消毒**: 歯科治療に使用する器具は、患者ごとに適切に消毒・滅菌する必要があります。滅菌プロセスが確実に行われているかを確認するために、滅菌インジケータを使用します。

### 3. 感染リスクの最小化

感染リスクを最小化するためには、全体的な感染予防対策が必要です。

・**パーソナルプロテクティブエクイップメント (PPE) の使用**: 手袋、マスク、フェイスシールド、ゴーグル、防護服などの PPE を適切に着用し、患者ごとに交換します。これにより、飛沫や体液、血液による感染を防ぎます。

・**環境の清潔維持**: 診療台や周辺の表面を定期的に消毒し、清潔な状態を保つことが重要です。また、診療室全体の空気換気も行い、空気中の病原体を減少させます。

・**針刺し事故の防止**: 針や鋭利な器具の取り扱いには十分に注意し、使用済みの針は専用のシャープスコンテナにすぐに廃棄します。針刺し事故が発生した場合には、速やかに上司に報告し、適切な処置を受けます。